

二酸化炭素濃度チェッカー

取扱説明書

はじめに

ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みになり、大切に保管してください。

⚠ 安全に関する注意事項

- 使用前に破損・ひび割れがないかご確認ください。万一破損・ひび割れがあった場合は危険ですので使用しないでください。
- お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。
- 製品本体が高温になるなどの現象が現れた場合は、すぐに電源を切り、ご使用を中止してください。
- 本製品は防水加工されておりませんので、水のかからない場所でご使用ください。
- 製品本体の給電にはUSB変換ACアダプター(別売)を使用してください。
- 製品本体は5Vを超える電圧の電源に接続しないでください。
- USB電源の誤使用は、火災や感電などの重大な事故の原因となります。下記に注意してください。
 - ・USBケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ず先端のプラグを持って抜いてください。
 - ・濡れた手でUSBケーブルを触らないでください。
- USBケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったり、加工しないでください。
- USBケーブルを手や指、首などに巻き付けしないでください。
- USBケーブルの上に重いものを置かないでください。
- 湿度が高い場所や、ほこりの多い所は避けてください。
- 周囲の温度が0～40℃の範囲内で、かつ温度変動の少ない場所を選んで使用してください。
- 窓際や直射日光の当たる場所は避けてください。
- 振動の少ない場所に取り付けてください。
- 機器は精密な構造ですので、落としたり、叩いたり、過度な衝撃を与えないでください。
- 有機溶剤や油分を含む環境での使用は避けてください。
- 水しぶきや水滴のかかる場所、湿度の高い場所、結露のある壁面は避けてください。
- 本体側面の通気口が塞がるような設置環境は避けてください。

セット内容



- ・二酸化炭素濃度チェッカー 1
- ・USBケーブル 1

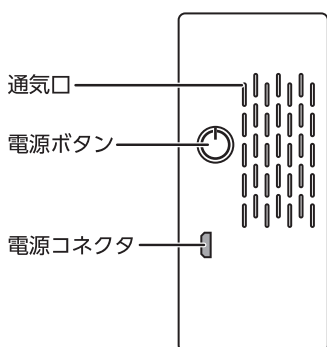
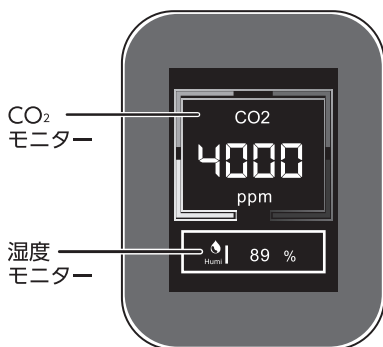
製品仕様

電源	USB Micro-B DC5V 500mA
CO ₂ 濃度測定範囲	400～5000ppm
湿度測定範囲	0%～99%RH
使用温度範囲	0℃～40℃
保管温度範囲	-20℃～55℃

※充電機能はありません。

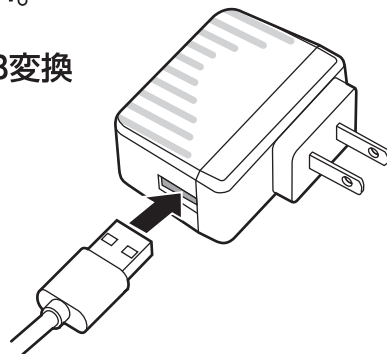
※給電には別売のUSB変換ACアダプター（DC5V）をご使用ください。

各部の名称



使用方法

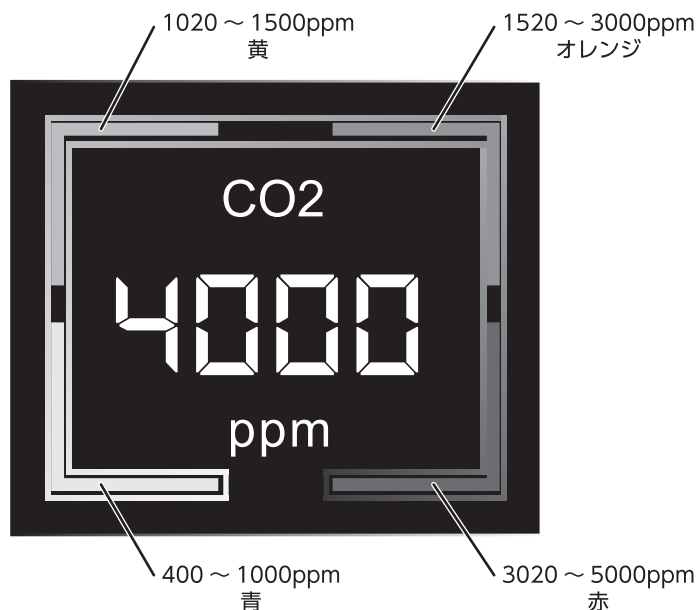
- ① 使用時は直接呼気がかかりにくく、周囲に燃焼器具の吸気口や排気ガスなどがかかる場所を避けて設置してください。
- ② USBケーブルを電源コネクタに接続し、USB変換ACアダプターより給電してください。
- ③ 電源ボタンを長押しすると電源が入ります。
電源を入れた直後数十秒間は、風通しの良い場所など自然環境下に近い二酸化炭素濃度の環境下に置き、自動校正を行ってください。二酸化炭素濃度が高くなっている状態で電源を入れると、自動校正が正常に行われず、測定値に不具合が発生する場合があります。また、自動校正中は二酸化炭素濃度表示は400ppm(自然環境下の二酸化炭素濃度)から変化しません。
- ④ 校正が完了すると、二酸化炭素濃度が変化ようになります。
正常に動作しているか確認のため、本体側面の通気口に軽く呼気を吹きかけて、二酸化炭素濃度が変化することを確認してください。呼気を吹きかけると最大値(5000ppm)まで数値が上がり、しばらくすると徐々に測定値が小さくなり元に戻ります。



二酸化炭素濃度の表示について

二酸化炭素濃度に応じて以下のようにCO₂モニターのカラーバーの表示が変化します。

人が多い密室環境や換気の悪い環境では二酸化炭素濃度が上がります。換気の目安にしてください。



スリープモードについて

長時間連続稼働による内部の発熱でセンサーの寿命を縮めないように、本機にはスリープモードが搭載されています。25分連続稼働毎に5分間スリープモードに入ります。

スリープモード中は画面上に「sleep」と表示されます。

5分経過するか、電源を入れなおすことでスリープモードが解除されます。

トラブルシューティング

症状	原因	対策
電源が入らない	USBケーブルが接続されていない。 ※本製品は充電機能はありません。	USBケーブルが電源に接続されていることを確認してください。
表示が全く変わらない	自動校正が行われている。	電源投入後しばらく待ってください。
	スリープモードになっている。	しばらく（最大5分）待ってください。 もしくは電源を入れなおしてください。
表示される二酸化炭素濃度が異常に高い	以下のような環境の場合、表示値が高くなります。 ・人の呼気が直接かかりやすい場所。 ※床上1.8m以下の位置は呼気の影響を受けやすくなります。 （参考:人間の呼吸による平均的CO ₂ 濃度は、約4%=40000ppm。） ・燃焼器具の排気口の近く。 ・自動車の排気ガスがかかる場所。	設置環境を見直してください。
	呼気を感知して値が急上昇する場合があります。一旦濃度が上昇すると、本体内部に二酸化炭素が残り、しばらく値が下がらない場合があります。	しばらくしても値が下がらない場合は通気口から自然な空気を送って内部の滞留した二酸化炭素をリフレッシュさせてください。